

女性泌尿器科外来スタート	亀井麻依子	2
高知県研修医のトークイベント	行元志門	5
人物ルポ 333	田中惇一	7
第162回地域医療講演会	森田潔	8
頻尿でお悩みの方へ	濱口卓也	8

www.chikamori.com ● 高知市大川筋一丁目1-16 tel. 088-822-5231
発行●2018年7月25日 発行者●近森正幸 / 事務局●寺田文彦

第19回日本医療情報学会看護学術大会

7月6、7日の両日、高知市文化プラザ「かるぽーと」で、「第19回日本医療情報学会看護学術大会」を開催しました。

切れ目のない医療、 つなぎ目のない看護の連携を目指して

近森病院看護部長 吉永 富美



▲特別講演 近森正幸理事長 ▲教育講演 大阪大学大学院松村泰志先生

全国から約430名

日本医療情報学会は、医療情報に関心を持つ医療従事者や研究者の学術交流の場として、昭和58年に設立されました。

看護部会は看護情報に関わる人々を対象とし、効果的な情報伝達、意思決定支援に役立つ情報利活用、教育制度の提言などを目指し、活動しています。今年は地方での大会開催となり、参加者数の心配をしていますが、記録的な集中豪雨中の開催にもかかわらず、全国から約430名(県内スタッフ含む)の方々の参加をいただきました。



看護に何を求められているか

大会テーマは「地域をつなぐ、ヘルスケアネットワークの新展開」です。看護職は、医療と生活の視点を持ち、急性期から在宅まで、地域に広がるあらゆる予防・健康増進・治療療養の場をつなぐ専門職として役割が期待されています。それぞれがそれぞれの場で出来る事を実践するのはもちろんですが、多くの現場であふれる情報を活用し、つないでいくことが大切です。

切れ目のない医療、つなぎ目のない看護の連携を目指して、看護はどのようなネットワークを築いていくか、そしてどのようなことが看護に求められているのか考えていく機会になればと考えました。

ICT時代の医療

よさこいチーム「ちかもり」の演舞から始まり、特別講演は近森理事長から「ICT時代のチーム医療と情報共有」を、教育講演は大阪大学大学院松村泰志先生にお願いし「ICTを活用した医療者間の情報伝達」についてご講演いただきました。時代、生活の変化に合わせて、医療者も変わっ

ていく必要があり、情報を活用し、ケアの質を上げていくことが必要であると感じました。

シンポジウムやワークショップなど

その他、日本医療情報学会看護部会のワーキンググループよりシンポジウムとワークショップ、情報学会課題研究会より「医療ICTと在宅連携のための標準看護マスタのモデル研究会」チュートリアルを行いました。またクリニカルパス学会とのコラボ企画「電子クリニカルパスとデータの標準化」、そして高知大会から「地域連携」と「看護管理者の情報マネジメント」を企画しました。

一般演題も、クリニカルパスや看護協会のDiNQL事業、災害時の情報管理、ICTを活用した看護管理や地域ネットワークの構築など、多くの演題をい

次頁へ続く



前頁から続く

ただき、また、会場からは多くの意見を聞くことができ、活気のある大会となりました。

多くの協力を得て

今大会の開催に当たり高知県内から

も高知大学、高知県立大学、高知県看護協会、その他高知県の各病院、施設、訪問看護等から大会実行委員や演題のご協力をいただき内容も充実しました。盛大な会を開催できましたことに心から御礼を申し上げます。

悪天候のなか、交通機関の運航中止

などがあり、参加できない方も多く残念でしたが、開会式と特別講演の様子を当会HPで公開しておりますので、ぜひご覧いただければと存じます。

第19回日本医療情報学会看護学術大会 HPはこちら



よしなが ふみ



▲示説発表は37題発表された



▲事務局の準備期間は1年以上に及んだ



★ 女性泌尿器科外来スタート ★

女性泌尿器科医は 県内に5人足らず

近森病院泌尿器科非常勤医
亀井クリニック副院長 亀井 麻依子



亀井麻依子と申します。平成20年に高知大学を卒業し、その後は高知大学泌尿器科へ入局し、国立病院、幡多けんみん病院を経て、平成28年より亀井クリニックにて診察を行っております。

この度、女性泌尿器科外来を開設させていただくこととなりました。

全国的に女性泌尿器科医は増加しつ

つありますが、高知県内には5人にも満たないという現状であり、女性の患者さんが泌尿器科へなかなか来院しづらい環境にあります。

この女性泌尿器科外来をきっかけに、少しでも多くの排尿トラブルを抱えていらっしゃる患者さんの窓口になり、お力添えが出来ればと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

かめい まいこ

毎月第2金曜午後 女性泌尿器科外来(予約制)

女性医師に相談できる
女性のための泌尿器外来

- おしっこが近い
- 間に合わない
- 我慢できない
- お風呂に入るときに尿がもれる
- 尿が止まらなくなる
- 尿が止まらなくなる

088-822-5231 (平日 9:00 - 17:00)

亀井 麻依子

お詫びと訂正

「ひろっば」384号(7月号)で泌尿器科外来の亀井麻依子先生のお名前に誤りがありました。謹んでお詫びし訂正いたします。

父の日特別企画続報



母の日に続き、 サプライズの瞬間を激写!

掲載頁をもって部署にお届けにありがとうございました。お二人とも驚きの表現はそれぞれに嬉しそうに受取ってくださいました。



8月の歳時記 ひまわり

近森病院透析室
看護師 谷川 木綿

元気で明るい夏の花の代表といえば、ひまわり。「向日葵」は、ひまわりの花に向日性があることからつけられた。「向日」と「太陽に向かっ



て成長する植物」という意味のある「葵」を合わせ、「向日葵」と書いて「ひまわり」と呼ばれるようになったそうです。ちなみに、高知県では土佐市出間のひまわり畑が有名ですよ。

たにがわ ゆう





EVERYBODY 前進

がん化学療法看護認定看護師
近森病院点滴センター看護師 清遠 朋巳

2005年にがん化学療法看護認定看護師の資格を取得し、活動をはじめました。どんなことをしているかという、抗がん剤治療を受けられる（内服での治療も含まれます）患者さんやご家族へ、専門性の高い看護を提供しチームで支援していくこと、抗がん剤治療に関わるスタッフに対する支援などです。

私が看護師になった頃に抗がん剤治療をされていた患者さんたちは、薬の副作用により洗面器を抱えて吐きながら治療を受けていました。今でも患者さんたちから治療開始の時に必ず質問を受けますが、現在は副作用を予防する治療薬の進歩により、吐きながら治療するようなことはありません。

がん化学療法は、日々新しい治療法

が開発されています。それと同時に、支持療法という副作用の予防方法も開発されました。そのおかげで多くの患者さんたちは、外来で抗がん剤治療を受けることができるようになりました。

しかし、避けられない副作用が色々あるのも現実です。その副作用をできるだけ予防し、またある程度は日常生活の中で折り合いをつけ、患者さん自身で対策が取れるように支援していくのが私の役割だと思っています。

タイトルは認定看護師になったばかりで焦りや不安でいっぱいの際に通勤の、車で繰り返し聞きながら気持ちあげていた曲ですが、今でも前進あるのみと思っています。

きょうと ともみ

CHIKAMORI REHABILITATION オープンホスピタル
2018/8/26 日
13:00-16:00 7階会議室
同時開催
入場無料・事前申込不要

お気軽にご参加ください
8/26 Sun 10:00-14:00
9/30 Sun 10:00-14:00
3/23 Sat 10:00-14:00
Open Campus
近森病院附属看護学校
Chikamori Hospital Nursing School

私の趣味

バイクで47都道府県を走破

入職時に趣味の欄に、映画鑑賞や旅行と書きましたが、旅行は旅行でもバイクで行く旅行も大好きです。気分転換にいいよ、と友人に勧められ教習所に通い免許を取得。新車のSRを購入し、お休みのたびにバイク



にまたがりあちこち出かけるようになると、すっかりはまってしまいました。気づけば年間2万キロ近く走り、2回もタイヤ交換するまでになっていました。

誘われてミーティングやイベントに出かけたりして全国に知り合いができ、バイクを通じた仲間ができました。走ったことない道を走ろうと考え、離島を巡ってみたりしているうちにいつの間にか47都道府県を走



近森病院北館3階病棟
看護師 谷脇 みちよ



破していました。現在はバイク仲間とバイクを置いて（笑）出かけることも多くはなりませんが、5月にはお休みをいただき、久しぶりに広島在住の友人たちと山口県の方にツーリングに行ってきました。晴天にも恵まれ、秋吉台や角島を気心知れた仲間と走るのもいいものですね。

思い起せば、きっかけは保育園児の時に父の運転するバイクの後ろに乗ったことが始まりかもしれません。乗るほうが専門でバイクの種類とかはさっぱりですが、いつかはルート66を走ってみたいなんて夢を持っています。

たにわき みちよ

新しい薬を待っている患者さんのために

株式会社E P 総合 中四国支社

高松支店副支店長 遠藤美和子さん

当社は治験の実施をサポートする「治験施設支援機関」です。

治験施設支援機関（SMO）というのは、医療機関と契約し、GCP（医薬

品の臨床試験の実施の基準に関する省令：治験を実施する際に守らなければならない規則）に基づいて、適正で円滑な治験が実施できるよう、医療機関における煩雑な治験業務を支援する組織です。

治験を実施する医療機関において、治験責任医師、または治験分担医師の指示のもと、治験の進行をサポートするのが、治験コーディネーター（CRC）です。

治験コーディネーターは、患者さんへの治験の説明補助（主にスケジュールや検査内容など）、各種報告書の作成補助、製薬会社（治験依頼者）と医療機関との間の調整など、治験に関わるさまざまな業務のサポートを行っています。

新しい薬を待っている患者さんに早くお届けできるよう、当社はこれからも円滑な治験の実施に貢献していきます。

えんどう みわこ

● 近森看護学校通信 29 ●

日々新しい経験・学びの連続

平成 29 年度卒業生

近森病院救命救急病棟看護師 青木 佳穂



3月に看護学校を卒業し4月より救命救急病棟に配属となりました。救命救急病棟は、救急で処置を必要とするさまざまな疾患をもった患者さんが入室してきます。

就職して早3カ月が経ち、日々新しい経験・学びの連続です。今は毎日の業務に追いつくので精一杯ですが、実習と違い一日患者さんと向き合い、治療や日常生活の援助を行っていく中で徐々に回復していく姿を近くで実感できる喜びを知ることができました。

これから、患者さんに安心して

もらえる看護を提供できるように一日一日を大切に少しずつ成長していけたらと思います。

あおき かほ



リレー エッセイ

我が家のメダリスト

2016年リオのオリンピックでレスリングの試合を観戦した私はうちの子（当時小学1年）も向いているじゃないか、と思いつき見学を勧めたのがレスリングとの出会いでした。

意外と知られていないようですが、高知県には数件の中学校・高校に部活が存在しており、そこから全国大会優勝者や、世界で活躍している選手も数多く輩出されています。

ジュニア世代のレスリング教室も3カ所あり、そのうちの一つに見学をさせていただくと、指導して下さっている先生から「この子は強くなりますよ」とお墨付きをいただきました。しかしレスリングを始めた当初は経験者の同い年や年下の子に手も

近森リハビリテーション病院
4階西病棟 介護福祉士

楠瀬 正也



足も出ずに毎日練習で泣いていました。その後、本人の負けん気の強さやまじめさもあってか小学2年生のころには出場した大会すべてで3位以内の入賞を果たし、大阪で行われた大きな大会で優勝し高知県からも表彰されたこともありました。

小学3年生になった今年の夏には

初めての全国大会を控えています。1日2時間の練習を週5~6回し、厳しい先生や私の指導にも耐えてきました。結果が全てではないですが努力が報われることを祈っています。

挨拶や礼儀などもしっかり指導して下さいますし、運動能力や柔軟性も向上するのでお子さんにレスリングを習わしてみたいと思った方は遠慮なく声を掛けてください。

くすのせ まさや



新企画

"レジットーク" やってみました

初期研修医 2年目 行元 志門



私は現在、「高知県の医療を良くする」ための研修医団体「コーチレジ」の活動に携わっており、その活動の一環として"レジットーク"という企画を行いました。内容は、県内の各病院を代表する10人の研修医（通称ひな壇レジデント）に、医学生が知りたい

国家試験のことや研修医あるあるなどを、某有名トーク番組風に話してもらいながら高知県での研修をPRしていくというものです。

近年、高知大学出身にも関わらず他県に出てしまう研修医が非常に多いのが現状ですが、今回のように医学生が

気軽に参加でき、なおかつ高知県の良さを改めて感じてもらえる企画を引き続き行っていくことで、必ずや高知県の臨床研修が盛り上がり信じています。

ゆきもと しもん



お弁当拝見 64 充実した休日と 仕事のために

近森リハビリテーション病院
5階西病棟
看護師 香西 江梨奈

4月に就職した新人です。この仕事を始めて、時間管理がとても大変だということを実感しています。仕事と家事を両立させるために、休日はおかずの作り置きをして、それをお弁当にも活用して時間の節約をしています。

できあがった際は充実感を得ることができ、気持ちに余裕が生まれて人にも優しく接することができるような気がしています。患者さんにも毎日優しく接することができるよう、しっかり時間管理をしていきたいです。

こうざい えりな



ハッスル研修医

人とのつながりを大事に

初期研修医 奥根 亨也



和歌山の南端で育ち、高知県にやってきて今年で7年目になります。大学時代は硬式テニスに打ち込み引き締まった体を保っていましたが、最近自分の体が丸みを帯びてきました。やはり高知の食べ物は美味しいですね。

近森病院での研修が始まり早3カ月が経ちました。毎日、失敗と反省の繰り返しで苦労する日々が続いておりますが、コメディカルの方々や熱心に指導して下さる先生方に支えられて、充実した研修を送っています。私は高知に来るまで信号もない田舎町で暮らしてきました。そこでの暮らしは決して便利ではありませんでしたが人とのつながりはとても濃かったと思います。

私が高知県で働こうと思ったのも、大学6年間で出会った人とのつながりを大事にしたいと思ったからです。医師として、社会人としてたくさんの人と関わっていきと思いますが、ひとつひとつの出会いを大切にしたいと思います。今後ともよろしくお祈りします。

おくね ゆきや

ニューフェイス

①所属②出身地③最終出身校
④自己アピールなど



池田 智子

いけだ さとこ ①麻酔科
医師②岡山県③岡山大学
④1年ぶりにカムバック
しました。岡山からの通い
ですので、週3日勤務に
なります。こちらにいる間
は、仕事に専念して頑張り
ます！



田村 恵理

たむら えり ①消化器
内科医師②高知市③高知
大学④秋田日赤で1年3
カ月、内視鏡を学んできま
した。学んできたことを活
かし、癌の早期発見に少し
でも貢献できたらと思いま
す。

NEW お酒の楽しみ方 1 モルトウイスキー編

ミルロイ兄弟とマッカラン

ウォルトン・バー 川田 宏治

日本でも高まるばかりのモルトウイスキー人気。長年親しくさせていただいてる近森病院の「ひろっば」の誌面をお借りし、ウイスキーの楽しみ方や魅力をご紹介します。

第一回はモルトウイスキーを世界的に普及させた「ミルロイ兄弟とマッカラン」です。パブ経営者の息子として生まれた兄弟の兄ウォレスは1960年代には著作や講演を、弟のジョンはロンドンソーホー地区に「MILROY'S」というウイスキーショップを開店、今日に至っています。

兄の功績はスコットランドにおける数多の蒸溜所閉鎖を4割近く回復させ、現在では約100カ所の蒸溜所が稼働しています。アメリカやアイルランドでもこの傾向は進んでおり、わが国でも資本投下は著しいです。

今回紹介するマッカランはスコッチのロールスロイスと呼ばれ人気の高い

▼左はマッカランのいわゆる「John Milroy Selection」。スペインサイドのマッカランでシェリー大樽で熟成された。右のボトルは1959年の「The MACALLAN」。下の方に「80°」の文字が見えるが、これはイギリス式の表記で実際は46°



モルトでその味わいの深さラインナップの豊富さは群を抜いており1991年のミルロイ店ではマッカラン1938年が2000ポンド(約¥400000)1950年が750ポンド(約¥150000)の値が付けられました。

かわだ こうじ

おめでとう

編集室通信

一緒に寝起きしていた2匹の猫を寝室から閉め出すことにした。もうすぐ2歳を迎える兄弟猫が突如講じる追いかけてこにより、寝不足の機会が多くなったためだ。夫は「かわいそう」と、布団を和室に移動させたが、やはり寝不足は継続しているらしい。そんなのお構いなしに猫は今日も夫に朝ご飯をねだっている。夫も嬉しそうだから良いだろう。

(とら)

人の動き

敬称略

薬剤師として積極的に地域貢献したい!

薬を知ってもらう活動をもっと!

手術の数日前から「休む薬」がある。事前に主治医からは薬を休むわけや種類について説明を受けているはずだが、患者さんによっては、「どの薬のことか覚えていない」「薬はややこしい」というような反応になってしまう。

「用法、用量をお守りください!」。あちこちで見かけ、耳にも残っているようなこの言葉。では、実際にきちんと実践できている人、あるいは処方された薬を「きちんと理解して」飲めている人は、どれだけいるだろう。

病院や薬局でもらう薬以外に、市販の薬もある。成分が同じでも呼び名が違いかもしれない。サプリメントなど、インターネットで気軽に購入できるいまの時代、薬のことを理解していないと、思わぬ副作用が起きるかもしれない。

それでも、大人は薬の説明を病院や薬局で受けられるが、子どもの場合はどうだろう。ドラッグストアなどで手に入れた薬を、あまり分からないまま服用しているかもしれない。

田中薬剤師にはそんな思いもあって、「薬のことをもっと知ってもらう活動をしたい!」と、筒井由佳薬剤部長に学校薬剤師としての活動を願い出た。

筒井部長は、「田中くんが、大人だけでなく子どもたちにも薬のことをもっとよく知ってもらい、併せて薬剤師の存在もアピールしたい!と熱く語ってくれて嬉しかった」という。「前へ前へと自分を押し出すより、後ろでじっくり備えて、ここいっばんで手を挙げるタイプ」。そういう、どちらかといえば控えめな田中薬剤師の見せた「ここいっばんの積極性」が、部長にはピカリと光って見えたのだろう。

2学期には小学校の5年生と6年生に薬物乱用の怖さや煙草の害などの授業に行く予定だし、中学生の職場体験では薬剤師の仕事や薬剤自体をもっと知ってもらいたいと、「田中くんなりの熱弁」をふるっているとも聞いた。

正確さを旨とした調剤に、薬物療法の必要性を理解した上で、いかにきちんと服薬してもらえるかは薬剤師に課された重要な任務といえる。患者さんへの服薬指導に加えて、地域の若い世代へ向けての働きかけを積極的に行なうことも、時代を担う若手の薬剤師に期待される役割といえる。

獅子舞の遣い手という地域貢献

その他、プライベートでは年に2回、春と秋それぞれに約2カ月、惇一さんが情熱を傾け続ける地域貢献がある。

地元の大祭での「獅子舞の遣い手」で、小学一年から、徳島での大学時代も含めて、欠かすことなく参加してきた。世話役を務めた父親と姉と妹と四人、ずっと参加して今日に至る。

青年団で獅子舞に参加していたメンバーが中心になって保存会を立ち上げ、「まるで生活の一部のように」惇一さんも参加する。

むろん義務だけでは続かないが、やりきった感や繋がり確かさ、伝承者としての誇りなど、「実際にやっている者にしか味わえない満足感」を、ヒタヒタと感じているようだ。

ところで、フルマラソンは大学時代以来、機会を見つけては参加し、「常に完走!」が、どうやら密かな自慢らしい。

もともとは、大学時代に100キロ近い体重の友人を走らせようとして、軽い気持ちで始め、いまだに「歩くことが前提」と割り切って、各地の名物を味わえることを楽しみに続けている。



▲「テガイ」に追い詰められる獅子



▲職場体験の中学生に、病院薬剤師の仕事について臨場感たっぷり説明中

ほどほどの力加減で息長く

何事にも極めて真面目にコツコツ取り組み、だからといって肩に力を含め過ぎず、力加減はほどほどに。これが息切れしないコツなのだろう。

獅子舞を続けたくて、就職は高知でと早い時期から決めていたほど、大事にしてきた「獅子舞」。いま、三歳半になった長男にも継いで欲しいと願っているようだが、「強制はしません(笑)。自然に好きになってもらえるよう、いつも祭りに連れていっただけです」。笑顔の先には、すでに立派な遣い手に成長した息子が見えているのかも知れない。

吾川郡いの町の大祭が、今後とも長く地域の宝として残っていきますように…。惇一さんの地域貢献への情熱にもエールをおくりたい。

2018年6月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	17,937人
新入院患者数	959人
退院患者数	975人
近森病院(急性期)	
平均在院日数	13.81日
地域医療支援病院紹介率	76.05%
地域医療支援病院逆紹介率	165.28%
救急車搬入件数	519件
うち入院件数	254件
手術件数	493件
うち手術室実施	311件
うち全身麻酔件数	178件

● 2018年6月 県外出張件数 ●
件数 68件 延べ人数 136名



痛みで困っていませんか？

近森病院顧問
岡山大学顧問・名誉教授
上海交通大学客員教授 森田 潔

岡山大学麻酔・蘇生学講師、賀来隆治先生による第 162 回近森病院地域医療講演会が開催されました。

先生は、現在、医局長として教室運営の責任者でもあります。平成 19 年から 2 年間、米国 NY のコロンビア大学において“痛み”のメカニズム研究に従事され、岡山大学病院ペインセ

ンターの“痛み”外来に関わってこられました。今回の講演では、ペインセンターにおける先生の治療経験から、慢性痛、急性痛の分類、性質、またがん性疼痛の特徴、治療戦略など、日常の医療に生かせるヒントを含めわかりやすく講演をいただきました。

外来を訪れる患者さんの 7 割が痛み



演者の岡山大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔・蘇生学講座講師 賀来隆治先生

を主訴としていることから、痛みに対する考えかた、対処の仕方など、臨場に大いに役立つ講演でありました。

もりた きよし

★ 泌尿器科 新しい治療のご紹介 ★



頻尿でお悩みの方へ ～仙骨神経刺激療法のご紹介～

近森病院泌尿器科部長 濱口 卓也



おしっこの悩み

高齢化社会の影響か、おしっこの悩みをお持ちの方が増えているようです。

ためられない排尿障害、頻尿、間に合わない、漏れてしまうなどの“おしっこの悩み”だけに周囲に相談できず、ご自分で悩みを抱えている方、特に女性の方が多いようです。

頻尿、尿失禁は生活の質が損なわれることはあれ、命に関わる可能性は非常に低い疾患です。ただ、夜間頻尿で寝不足&体調不良、周りの家族に対する気苦労、夜間転倒で骨折入院・・・など、結局はおしっこの悩みは全身性の病気につながることもあります。

仙骨神経刺激療法

ですが、中には様々な治療を試しても一向によくない患者さんも実際のところいらっしゃいます。そんな方には思い切って「仙骨神経刺激療法」といった治療法をお薦めします。

仙骨神経刺激療法は難治性の頻尿、尿失禁に対する治療法で、体内植え込み式神経刺激装置を使用して排泄に関する神経を刺激することで尿失禁を改善させる治療法です。治療にあたっては植え込み時に数日間の入院が必要となりますが、治療効果が非常に高く、難治性排尿障害の患者さんにはぜひお

すすめする治療法です。まだ新しい治療法で昨秋に保険適応となったばかりです。当院では昨秋に施設認定届出し施行施設に認定されています。

頻尿、尿失禁にお悩みの方は一度当科にご相談ください。

はまぐち たくや (詳しくは泌尿器科外来設置のチラシをご覧ください)

【仙骨刺激療法イメージ図】



心臓ペースメーカーのような装置で電池寿命は約 3～5 年

▲資料提供：日本メドトロニック株式会社「SNM（仙骨神経刺激療法）ガイドブック」

